

松本市広報R7-11

●問い合わせ 中央公民館  
TEL 32-1132 FAX 37-1153

●編集 公民館報編集委員会  
●印刷 株式会社プラット

# 公民館報

発行  
2025  
11/30

# まつもと



シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 76

みこし

## 晴れた空に御輿が舞つ

まつもと市民祭 松本まつり  
イベントが彩る文化の日

(撮影 2025.11.3 大名町)

他市町村では音楽指導者の下に集う童謡・唱歌愛好者のサークル活動面が強いそうです。しかし、松本では公民館活動の生涯学習として始まりました。更に各地区にピアノが寄贈されるなど、練習や発表の環境が最良でした。そこには行政との協力関係があり、「歌う集いは地域づくりに通じる」という共通の理解があつたからです。

生涯学習として

藤俊子さんは語ります。  
「唱歌が共鳴する忘れない体験でした」と大会事務局の斎  
藤俊子は、コロナ禍に1回中止しただけ  
で継続されてきたフェスティバル。実行委員の方から  
人気の背景と今後への思いを伺いました。

10月13日、キッセイ文化ホールに県下各地から観客・出演者それぞれ350人が参加し、30周年を迎えた記念大会が盛会に開催されました。

歌い続けて30年

## 第30回長野県童謡・唱歌フェスティバル松本大会

といますが、子どもたちの音楽会に積極的に参加する社会人サークルもあります。子どもたちと交流し「童謡・唱歌を歌う楽しさ」を共感できる機会を前向きに探つていま  
す。



共に創立30周年の童謡唱歌・歌うモナミと  
神林ひばりの会、菅野小学校の児童と発表



7回目を迎えた「歌おう!童謡・唱歌」は満席  
(撮影:2025.07.05 あがたの森講堂)

子どもたちと共感を-

もつサークルがいくつもありますが、どこも高齢化に伴う会員減少は否めず、また若い世代の加入が悩みの種です。男性会員不足も課題ですが、サークルを超えた有志の男声合唱発表が7年続いており、大変好評です。工夫次第で明るい展望も見られます。

悩みはありますも

東日本大震災の際に子どもたちが自然発的に童謡を歌つたとのエピソードを紹介した三原寿雄実行委員長は「童謡はいつしか心象としてインプットされる」と期待を込め語りました。

まだ、7月1日「童謡の日」にちなみ『日本のうた101』(のばら社)の中から市内13団体が2曲を持ち寄り歌い合った『歌おう!童謡・唱歌』という催しも行われ、好評です。昌次「ふらり」との原風景

わがまち自慢  
入山辺地区  
みやかいどうえんてい  
**宮海道堰堤**



昭和 14 (1939) 年完成  
国内初期のアーチ式砂防堰堤

### 堰堤頂部：アーチ型の石積み



薄川は過去に幾度となく氾濫しており、上流の土砂対策として堰堤が造られました。現地の露出した岩盤環境に効果的なダム工法であるアーチ式が採用されました。

取扱の最後に相原セイ子  
山辺地区地域づくりセンター長は「今後は関係機関に働きかけて遊歩道整備など安全対策を進めていただき、より多くの人にこの堰堤を見てほしい」と話しました。

民20人程が参加し、市文化財課の職員から説明を受けました。参加者からは「貴重な堰堤が地区にあることを誇りに思う」という感想が聞かれ、この様子は公民館報の地区版に掲載されました。

以来80年以上にわたり堰堤は薄川沿岸の住民を洪水から守っています。

\* 堀堤周辺には民有地や危険な箇所があります。詳細は入山辺地区地域づくりセンターにお問い合わせください。



#### 安全対策をして是学 媽媽を背景に

## 写真でつづる まつもと今昔⑦〇 ~高校生の通学路~



(撮影：1996.4.16)

神明町はかつて道路が狭く一方通行で、小売店が並んでいた。公園通りも狭かったが、その頃は車が少なかったので、高校生たちの通学路として利用され、各高校名を付けて〇〇街道などと称していた。



(撮影：2025.3.15)

市街地再開発により、道路も歩道も整備され松本中央通りとなり、西堀町まで通行可能になった。今でも国府町と交差する手前に数十メートルだけ、当時の神明町通りが残っている。

大正ロマンの雰囲気が漂う町、上士。そこで、学生がまちづくりを実践しながら学びを深める、松本大学の取り組みを紹介します。

**力アゲつけ**

総合経営学部の白戸洋教授はおよそ20年間、上士との関わりを続けてきました。住民の方々とイベントを企画するなかで、継続的に地域に関わる取り組みをしたいという学生の声が挙げられました。そこで、「カフェあげつけ」を開設しました。学生やボラン

ティアを中心に営業しており、人々の居場所になっています。



下町会館1階の「カフェあげつけ」

かねてより、上士では女性部のクリーン活動など、住民の方々が主体的にまちづくりを行ってきました。そこには、白戸教授のゼミ活動が総

斗さんは、毎週カフェの手伝いをしています。その活動を通じて「地域の方の温かさや柔軟さを感じます」と話します。また、ゼミ活動の一環で上士を紹介する動画を制作しました。上士を舞台にした映像作品も制作中です。

かねてより、上士では女性部のクリーン活動など、住民の方々が主体的にまちづくりを行ってきました。そこには、白戸教授のゼミ活動が総

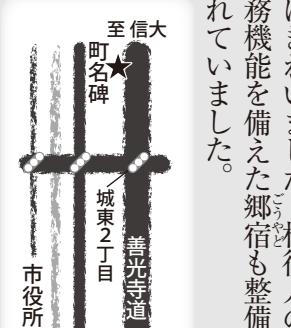
斗さんは、毎週カフェの手伝いをしています。その活動を通じて「地域の方の温かさや柔軟さを感じます」と話します。また、ゼミ活動の一環で上士を紹介する動画を制作しました。上士を舞台にした映像作品も制作中です。

制作した動画の1コマ

上士の魅力を発信



松大生制作の動画は  
こちらから!



「親町三町」の一つです。お城の東側なので、東町と呼ばれました。善光寺道に沿って、女鳥羽川の大橋から北に広がる宿場町です。旅籠屋や安宿泊まれる木錢宿、商人や定飛脚の宿などが多く、大変にぎわいました。村役人の執務機能を備えた郷宿も整備されていました。



## 旧町名碑めぐり③

合経営学部畠井治文教授のゼミに引き継がれています。

### 新たな活動七

シネマ・チュープキ・タバタという名の映画館がある。日本初のユニバーサルシアターだ。

チユーピキとはアイヌ語で「自然の光」を意味する。誰にでも平等に降り注ぐ、太陽や月の光のことだ▼はじまりはチャップリンの「街の灯」を、目の見えない人にも楽しんでほしいと願ったからだつた。その延長線として、耳の聞こえない人や車椅子の人、子育て中の人は、全ての人にひらかれた映画館が設立された▼娘の同窓生にブラインドサッカーの選手がいる。目の見えない方とサッカーが結びつかなかつた私にとって、彼の活躍は新しい世界を見せてくれた。しかも彼は言う。「サッカーをしていれば、思いきり走れるんです」と。その言葉に触れて、健常者である自分の視野の狭さを知った▼このところ私の手仕事教室に新しく入会されたのは、皆70代である。また、今まさに入会のご相談を受けているのは、87歳の方だ。人の可能性を勝手に決めてはならないと、今さらながら気付かされる毎日を送っている。

## おこひる

